

うわぬま 元気プロジェクト！

上沼地区まちづくり事業 実施計画書

令和6年度～令和10年度



令和6年3月

発 行	上沼コミュニティ運営協議会
作 成	うわぬま元気プロジェクト委員会
事業支援	登米市まちづくり推進部市民協働課

うわぬま 元気プロジェクト！

上沼地区まちづくり事業 実施計画書

目 次

1. はじめに

上沼コミュニティ運営協議会 会長

2. 事業計画策定に取り組んで

うわぬま元気プロジェクト委員会 委員長

3. 事業の概要

- ① 計画づくりに取り組む背景
- ② 計画づくり策定の目的
- ③ 計画策定の方針と期待する効果
- ④ まちづくり計画策定体制

4. 行動計画の内容

- ① 趣旨
- ② 行動計画の内容

5. 今後の取り組み

6. 資料編

- ① 上沼地区まちづくり事業 行動計画一覧表
- ② 上沼地域カルテ
- ③ 基礎資料

1. はじめに

上沼コミュニティ運営協議会 会長 佐藤 信男

上沼コミュニティ運営協議会による上沼地区まちづくり事業（うわぬま元気プロジェクト！）は、平成25年度に最初の5ヶ年計画づくりでスタートし、26年度から5年間（第1次）を実行期間としました。

第1次の成果と反省を基に、令和元年度からの5年間（第2次）は充実期間として取り組む計画でしたが、コロナ禍の影響で活動の自粛、変更、中止等を余儀なくされました。それでも委員の皆様の努力と地区民のご理解ご協力により大きな成果をあげることができましたこと嬉しく思います。

令和6年度からの5ヶ年（第3次）は、コロナ感染を恐れ「無理をしない、我慢する」生活によって弱まった人間力、希薄になった人と人とのつながりを回復し、一層活力ある地域づくりを目指さなければなりません。その大きな役割を担っているのが当プロジェクトだと考えます。

今後も「上沼を元気にするまちづくり事業」に継続して取り組んで参りますので、更なるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本事業の推進にあたりご支援を賜りました登米市まちづくり推進部市民協働課をはじめ、ご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

2. 事業計画策定に取り組んで

うわぬま元気プロジェクト委員会 委員長 佐藤 邦恵

私たちの暮らす上沼地区は、歴史があり環境に恵まれ、そして何より人材に恵まれた素晴らしい地域です。

上沼地区まちづくり事業が平成25年度から始まり、計画・実行の10年間で過ぎようとしています。

地域の安心安全・環境と歴史・人々とのふれあい・地域のつながりの4つのテーマを基に活動を行ってきました。

この1年間（令和5年度）は事業計画に対しての反省を行いながら活動し、更に8月からは令和6年度からの第3次事業計画（5ヶ年分）を、関係者の皆様により昼夜を問わず検討してまいりました。

多くの皆様と話し合い具体的な取り組みが行われ、「ふるさと・上沼」をより希望と活気溢れる場所にしたいと思う計画が出来上がりました。

最後になりましたが、うわぬま元気プロジェクト！にご協力、ご支援をいただきました、登米市まちづくり推進部市民協働課、上沼小学校、地域の皆様、うわぬま元気プロジェクト委員の皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

3. 事業の概要

①計画づくりに取り組む背景

登米市は市制施行（平成17年）して以来、平成18年に策定された「登米市総合計画」において「市民との協働による持続的な発展」を目指して「市民参画型のまちづくり」を理念とし各種施策が実行されてきた。

平成24年4月1日には協働のまちづくり基本条例が施行され、市民の参加保障、自主性確保等を基本原則として、具体的な推進策である《人づくり、条例づくり、拠点づくり、計画づくり》の「協働4づくり事業」が進められている。

当上沼地区では平成15年の地方自治法改正を機に、平成17年3月1日より「上沼コミュニティ運営協議会」が「上沼ふれあいセンター」の指定管理者となった。現在では住民による自主的な地域活動が盛んに進められ各行政区でも様々な地域づくりに取り組んでいる。

かつては住民のほとんどが農業（または関連した生業）に従事していた上沼地区は、仕事と暮らしが密接につながり合った共同体として地域行事や課題解決にあたっていたが、1次産業離れ、核家族化等の生活環境の変化に伴い、地域共同体の活動は個人の暮らしとのつながりが弱くなってきている。

②計画づくり策定の目的

《自らの地域は住民自らの積極的な参加のもとでつくる》

行政や地域内外の団体等の力を活かして協働で地域づくりをするためには、地域が独自性を持って自立していなければ協働は成り立たない。

現存する様々な課題解決ができる将来の地域づくりに欠かせない協働4づくり事業のうちの「計画づくり（地域づくり計画）」は地域独自の取り組みであるため、地域の将来設計を地域住民が主体となって推進することが必要となる。

このことから、上沼コミュニティを一定の生活範囲とし、共通する問題や課題を明らかにして情報共有を図り、解決するための指針とすることを目的として策定する。

③計画策定の方針と期待する効果

策定方針

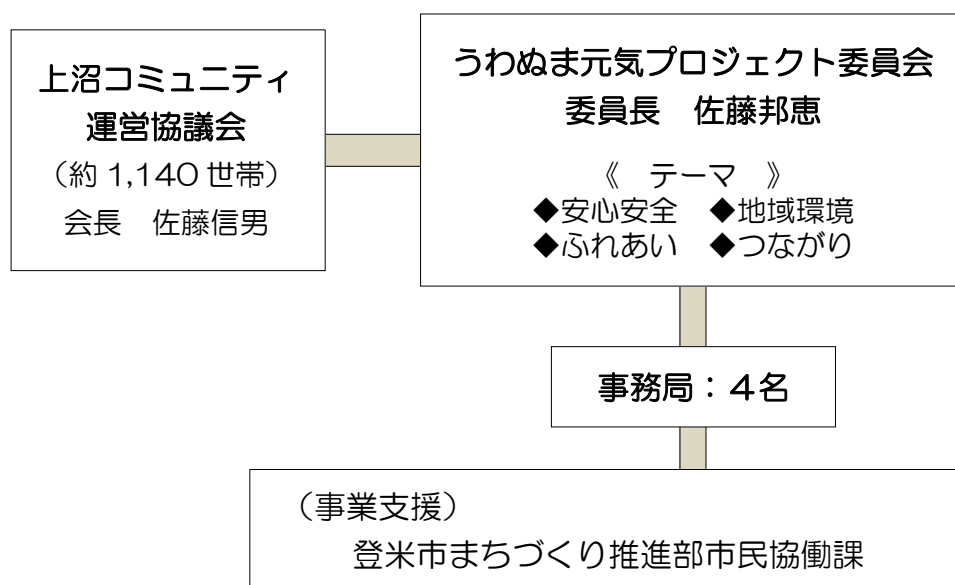
「上沼地区まちづくり計画」は、地域住民の声を多く集め、今後3年、5年と中長期にわたる地域の各種課題を整理し、改善策を検討して、行動計画をつくる。その後一定期間ごとに見直しを図りながら、計画の実現性を高めることとする。

また、作成する際には行政等と連携して、より良い計画策定のための組織づくりと仕組みづくりを進める。

期待する効果

- 1) 地域住民の意見を広く集める「仕組み」づくり
- 2) 住民意見の集約と委員の協議による「課題抽出と整理の場」づくり
- 3) 「地域課題」を解決するための「推進組織と人」づくり
- 4) 行動計画の策定
- 5) 住民同士の情報共有

④ まちづくり計画策定体制



4. 行動計画の内容

①趣 旨

この行動計画は、地域住民が行動するための計画である。

この中では特に「住民の役割」が非常に重要となってくる。

ワークショップ等で出された意見の中からまとめ上げた計画であり、「上沼地区民による上沼地区民のための計画」である。示された事業や作業を行う際には、住民への呼びかけはもとより、参加しやすい方法が求められる。

その場合、意思疎通ができていないと負担感や義務感が先に立ち、策定した計画が実行できなくなる恐れがある。

そのため、住民一人一人が今回の行動計画を【自分ごと】として考えることができるまで、リードしていくことがカギとなる。

②行動計画の内容

資料編に一覧表として掲載

5. 今後の取り組み

具体的な推進にあたっては、地域住民の役割と積極的な参加、参画が重要になることから、うわぬま元気プロジェクト委員会を常設委員会として設置し、寄せられた住民意見の受け皿としての役割と行事の検討や意見の調整、情報の受発信等を継続的に検討し、協議する場が必要である。

その組織づくりにあっては、地域住民から意欲を持ち、興味を抱く人が参画しやすい環境づくりをすることがコミュニティ運営協議会に与えられた役割であると考えます。

令和元年度以降の第2次計画期間中は、新型コロナウイルス感染症の流行により、行動制限や活動の自粛が余儀なくされ、事業の中止・変更が相次いだものの「どのようにすれば実施できるか」を委員で話し合いながら活動を継続し、5ヶ年計画のうち、8割以上の項目を実行することができた。

その活動成果や反省を活かしながら、今後さらに複雑化・多様化するであろう地域課題へ柔軟に対応し、互いに支えあえる地域づくりを推進する。

また、実行に際しては組織活動だけではなく、小さなグループや個人としても参加しやすい環境をつくり、協力し合う体制づくりに努める。

6. 資料編

①上沼地区まちづくり事業 行動計画一覧表

上沼地区まちづくり事業 計画実行一覧				うわねま 元気プロジェクト！				うわねま元気プロジェクト委員会 第3次地域づくり計画策定			
No.	班	テーマ	項目 (案)	実行年度				具体的内容			
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
1	安心安全		防災訓練・自主防災活動の充実	○	○	○	○	各種災害訓練 (令和7・9年度) や災害に対する研修会や講座 (令和6・8・10年度)			
2			通学路、危険箇所等の点検・整備	○	○	○	○	通学路、危険箇所やカーブミラー、看板等の点検・整備			
3			子どもと高齢者の安全な生活	○	○	○	○	地域の子どもたちの見守り活動や高齢者の防犯意識向上			
4	地域環境		上沼たすね歩きマップの活用	○	○	○	○	上沼たすね歩きマップの開催や子どもたちが地域を学ぶ機会、郷土愛を育むための事業			
5			特産物のPR、神社仏閣、遺跡等の地域インフラ活用	○	○	○	○	特産品のPR活動や文化財説明看板の設置			
6			病害虫対策	○	○	○	○	行政区へ駆除剤の配布や発生状況に即し情報発信			
7	ふれあい		地域環境整備	○	○	○	○	ポイ捨てゴミ禁止看板等の設置や登米市空き家バンクへの登録推進・情報発信			
8			フリーマーケット、あおぞら市	○	○	○	○	地元で作られた新鮮な野菜や果物等の販売 地産地消			
9			パークゴルフ大会 (パークゴルフ場 簡易整備)	○	○	○	○	パークゴルフ大会 (地域住民が集い、多くの世代が楽しく交流できる大会を目指す)			
10	つながり		趣味的講座の充実	○	○	○	○	地域住民の趣味や講座、健康づくり活動の推進 (ノルディックウォーキング、地井スポーツ、eスポーツ、ニュースポーツ等)			
11			鳥舞太鼓小道具作り	○	○	○	○	上沼小学校郷土芸能 上沼鳥舞太鼓のお祭典・小道具作り			
12			上沼音頭の普及、盆踊り大会の復活	○	○	○	○	行政区ミニディサービス等での活用や周知、盆踊り大会			
13	支援		子どもたちの居場所づくり	○	○	○	○	竹あかりイルミネーション 世代間交流の推進・子どもたちの地域参加を促すために居場所・遊び場作り			
14			歌声喫茶の集い	○				楽器に合わせ、懐かしい音楽に聴かれながら、地域住民が集まれる輪を作る			
15			学校等との連携	○	○	○	○	地域と学校等との連携 小・中・高校生の事業への参加、コミュニティスクール			
16	地域情報発信		地域づくり活動支援	○	○	○	○	自治組織等活動奨励金の交付			
17			地域情報の発信	○	○	○	○	コミュニティ事業・地域づくり事業等の情報発信 (ふれあいセンターより・SNS活用)			

※ 上記のほか、『上沼コミュニティまつり』は既存事業として例年実施
※ 随時、項目の検討を行っているため、加除・変更等あり

②上沼地域カルテ

(今後、加除・修正を加えながら充実させていきます)

令和6年3月作成

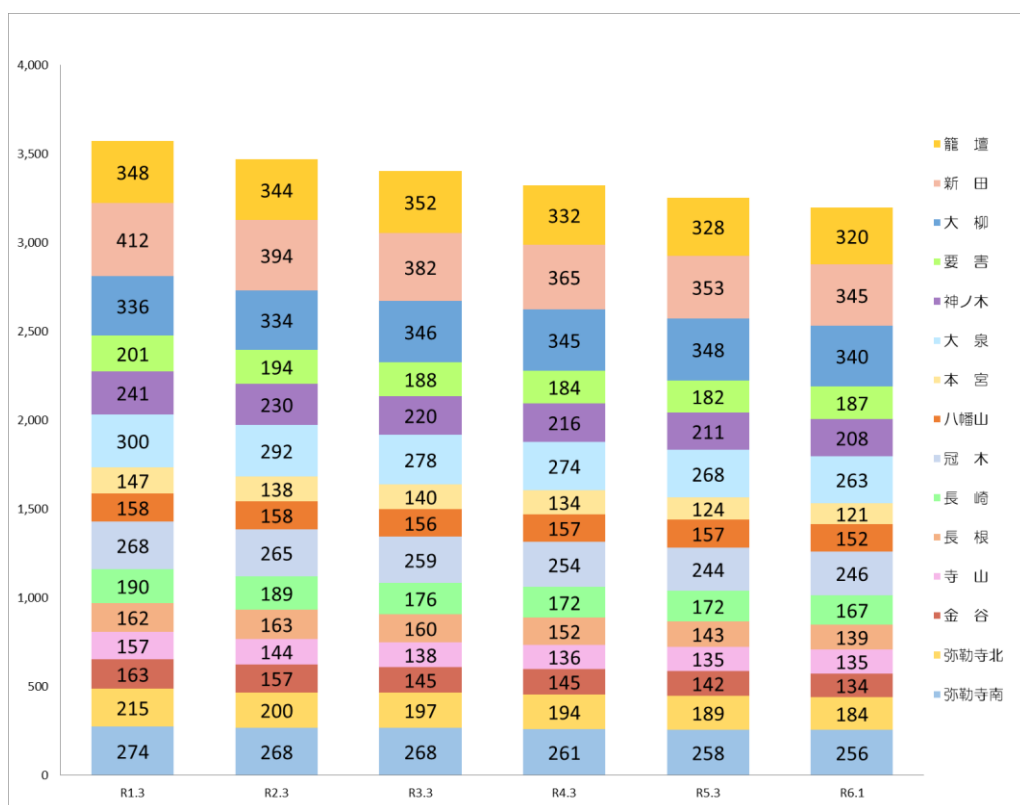
地域の概要	
地域名	登米市中田町上沼地区 (昭和31年時点：20.11 km ² ※ 旧中田町史より)
位置図	
運営組織	団体名：上沼コミュニティ運営協議会 事務局：登米市中田町上沼字弥勒寺大下 90 番地 I 上沼ふれあいセンター内（北緯 38.73，東経 141.25） TEL：0220-34-2002 登米市教育情報サイト： https://tome-c.ed.jp/cmc/fschedule/uwanuma-cc Facebook： https://www.facebook.com/uwafure2020
地域構成	行政区数：15 (弥勒寺南、弥勒寺北、金谷、寺山、長根、長崎、冠木、八幡山、本宮、大泉、神ノ木、要害、大柳、新田、籠壇)
地域の歴史	明治 8 年 10 月 上沼、大泉、弥勒寺の三カ村が合併して上沼村 明治 22 年 4 月 町村制施行により上沼、桜場が合併して上沼村 明治 45 年 4 月 中田沼の干拓が完工 大正 15 年 6 月 上沼村立実業学校開校（昭和 18 年上沼農学校に改称） 昭和 22 年 9 月 カスリン台風で大泉堤防決壊 昭和 24 年 9 月 旧上沼村公民館設置（独立建物なし） 昭和 31 年 4 月 石森町、宝江村、上沼村、浅水村が合併して中田町 昭和 31 年 4 月 上沼村役場旧庁舎へ中田町立公民館上沼分館開設 昭和 48 年 4 月 中田町立公民館上沼分館から上沼公民館へ名称変更 昭和 51 年 3 月 大泉揚水機場完成 昭和 52 年 3 月 上沼公民館新築 昭和 61 年 7 月 上沼コミュニティ運営協議会設立 平成 15 年 4 月 上沼ふれあいセンター開設 平成 17 年 3 月 上沼コミュニティ運営協議会が上沼ふれあいセンターの指定管理者となる 平成 17 年 4 月 登米郡迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町、本吉郡津山町の 9 町が合併して登米市 平成 17 年 4 月 登米市立上沼小学校開校（中田町立上沼小、上沼中央小、桜場小の三校が統合）

地域内の人口データ

【 人口：3,197人 ／ 世帯数：1,138世帯（令和6年1月現在） 】

❖ 行政区別 人口推移（令和元年3月～令和6年1月）

	R1.3		R2.3		R3.3		R4.3		R5.3		R6.1	
行政区	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
弥勒寺南	274	94	268	96	268	97	261	96	258	98	256	98
弥勒寺北	215	64	200	63	197	61	194	61	189	60	184	59
金 谷	163	44	157	43	145	43	145	43	142	42	134	43
寺 山	157	50	144	50	138	50	136	50	135	50	135	50
長 根	162	48	163	48	160	48	152	46	143	46	139	46
長 崎	190	62	189	62	176	62	172	61	172	60	167	59
冠 木	268	73	265	73	259	72	254	72	244	73	246	75
八幡山	158	46	158	45	156	45	157	46	157	46	152	46
本 宮	147	46	138	45	140	44	134	45	124	45	121	46
大 泉	300	96	292	97	278	93	274	93	268	94	263	93
神ノ木	241	73	230	73	220	73	216	71	211	72	208	70
要 害	201	59	194	59	188	59	184	58	182	59	187	60
大 柳	336	105	334	113	346	121	345	120	348	120	340	120
新 田	412	154	394	150	382	154	365	151	353	148	345	147
籠 壇	348	114	344	118	352	135	332	123	328	125	320	126
計	3,572	1,128	3,470	1,135	3,405	1,157	3,321	1,136	3,254	1,138	3,197	1,138



❖ 人口推移と予測値

上沼地区 これまで20年間の人口推移とこれから20年間の予測値									
	国勢調査値					予測値			
上沼地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口計	4,338	4,049	3,787	3,547	3,314	2,970	2,649	2,357	2,080
	(1,024人減)					(1,234人減)			
0～19歳	933	747	654	571	475	387	299	254	217
20～39歳	770	743	689	608	523	413	364	320	262
40～64歳	1,460	1,398	1,334	1,211	1,077	968	882	798	711
65歳以上	1,175	1,161	1,110	1,156	1,239	1,203	1,105	985	891
高齢化率	27.1%	28.7%	29.3%	32.6%	37.4%	40.5%	41.7%	41.8%	42.8%
	(64人増)					(348人減)			
65～79歳	921	840	690	702	801	849	742	589	500
80歳以上	254	321	420	454	438	354	363	396	391
						65歳以上の構成が大きく変化			

予測値の計算式参照：IHHOE【人と組織と地球のための国際研究所】

❖ 世帯構成の推移と予測値

上沼地区 これまで20年間の世帯構成の推移とこれから20年間の予測値									
	国勢調査値					予測値			
上沼地区	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
一般世帯数	1,082	1,071	1,066	1,053	1,067	993	913	826	738
						※ これからは世帯数が大幅に減少すると予想されています			
18歳未満同居世帯	448	370	329	286	247	194	150	128	109
構成比	41.4%	34.5%	30.9%	27.2%	23.1%	19.6%	16.5%	15.5%	14.8%
3世帯同居世帯	516	448	373	303	255	210	175	149	127
構成比	47.7%	41.8%	35.0%	28.8%	23.9%	21.1%	19.2%	18.0%	17.3%
65歳以上単独世帯	61	63	86	91	108	108	102	92	84
65歳以上夫婦世帯	68	66	69	77	96	98	94	86	79
65歳以上世帯計	129	129	155	168	204	206	196	178	163
構成比	11.9%	12.0%	14.5%	16.0%	19.1%	20.7%	21.5%	21.5%	22.1%
単独世帯(全世代)	102	111	153	163	211	210	206	192	175
構成比	9.4%	10.4%	14.4%	15.5%	19.8%	21.1%	22.5%	23.2%	23.8%
一世帯当たり人数	4.01	3.78	3.55	3.34	3.11	2.99	2.91	2.86	2.82

予測値の計算式参照：IHHOE【人と組織と地球のための国際研究所】

資料提供：とめ市民活動プラザ

❖ 5 歳階級別 人口推移と予測値

【上沼地区】		5歳階級別 人口推移と予測値										※2000年～2020年は国勢調査値　2025年以降はIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】計算式による予測値																		
年 数	計	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～								
2000年	4,338	178	196	291	268	174	194	179	223	293	370	326	219	252	327	337	257	142	79	27	6	0								
2005年	4,049	149	184	182	232	175	190	203	175	212	293	361	321	211	235	299	306	187	86	40	8	0								
2010年	3,787	143	163	189	159	142	182	170	195	179	211	288	342	314	206	221	263	233	129	48	10	0								
2015年	3,547	93	153	156	169	110	127	182	189	188	177	209	296	341	301	198	203	208	160	68	16	2								
2020年	3,314	84	103	158	130	105	97	129	192	203	192	177	213	292	334	288	179	165	161	81	27	4								
2025年	2,971	63	90	102	132	82	104	95	131	192	201	189	175	208	282	311	257	134	109	81	26	3								
2030年	2,649	57	68	88	85	83	81	102	98	131	191	200	188	172	201	263	278	191	87	55	26	3								
2035年	2,357	51	61	67	74	54	82	80	104	98	131	189	197	184	166	188	236	208	125	43	17	3								
2040年	2,080	45	55	61	56	46	53	81	81	104	97	129	187	194	177	155	168	179	136	62	13	2								
2000年	2,079	97	109	142	119	91	112	87	109	140	202	179	117	110	139	140	102	52	24	7	1	0								
2005年	1,958	81	97	100	111	87	92	117	87	104	144	199	173	112	104	123	123	62	26	14	2	0								
2010年	1,817	65	83	103	84	67	90	87	105	87	105	141	186	170	112	97	100	83	37	12	3	0								
2015年	1,699	39	70	80	91	58	68	91	92	103	86	105	146	186	163	103	83	67	51	14	1	1								
2020年	1,596	35	43	74	62	58	52	68	100	106	103	87	111	140	180	154	92	61	46	19	4	1								
2025年	1,438	25	36	43	59	41	58	51	69	102	105	102	86	107	136	162	131	62	35	19	4	1								
2030年	1,279	22	26	36	34	39	41	57	52	70	102	105	102	84	104	122	138	88	36	15	4	1								
2035年	1,127	19	23	26	29	23	39	41	58	53	70	101	104	98	81	94	104	93	51	15	3	1								
2040年	982	16	20	23	21	19	23	39	41	59	53	69	100	101	95	73	80	70	54	22	3	1								
2000年	2,259	81	87	149	149	83	82	92	114	153	168	147	102	142	188	197	155	90	55	20	5	0								
2005年	2,091	68	87	82	121	88	98	86	88	108	149	162	148	99	131	176	183	125	60	26	6	0								
2010年	1,970	78	80	86	75	75	92	83	90	92	106	147	156	144	94	124	163	150	92	36	7	0								
2015年	1,848	54	83	76	78	52	59	91	97	85	91	104	150	155	138	95	120	141	109	54	15	1								
2020年	1,718	49	60	84	68	47	45	61	92	97	89	90	102	152	154	134	87	104	115	62	23	3								
2025年	1,533	38	54	59	73	41	46	44	62	90	96	87	89	101	146	149	126	72	74	62	22	2								
2030年	1,370	35	42	52	51	44	40	45	46	61	89	95	86	88	97	141	140	103	51	40	22	2								
2035年	1,230	32	38	41	45	31	43	39	46	45	61	88	93	86	85	94	132	115	74	28	14	2								
2040年	1,098	29	35	38	35	27	30	42	40	45	44	60	87	93	82	82	88	109	82	40	10	1								

世代別 構成比の推移と予測値

年 数	計	0～19歳	構成比	20～39歳	構成比	40～64歳	構成比	65歳以上	構成比	80歳以上	構成比
2000年	4,338	933	21.5%	770	17.8%	1,460	33.7%	1,175	27.1%	254	5.9%
2005年	4,049	747	18.4%	743	18.4%	1,398	34.5%	1,161	28.7%	321	7.9%
2010年	3,787	654	17.3%	689	18.2%	1,334	35.2%	1,110	29.3%	420	11.1%
2015年	3,547	571	16.1%	608	17.1%	1,211	34.1%	1,156	32.6%	454	12.8%
2020年	3,314	475	14.3%	523	15.8%	1,077	32.5%	1,239	37.4%	438	13.2%
2025年	2,971	387	13.0%	412	13.9%	965	32.5%	1,203	40.5%	353	11.9%
2030年	2,649	298	11.2%	364	13.7%	882	33.3%	1,104	41.7%	362	13.7%
2035年	2,357	253	10.7%	320	13.6%	799	33.9%	986	41.8%	396	16.8%
2040年	2,080	217	10.4%	261	12.5%	711	34.2%	892	42.9%	392	18.8%

資料提供：とめ市民活動プラザ

地域内の個別状況				
No.	項 目	現 状	特 徴 (良いところ)	課 題
1	地域の特性	- 宮城県北部、岩手県との県境に位置し、南北に流れる北上川西側の肥沃な土壌により、稲作、果樹等の農産物と畜産業が盛ん - 歴史的神社旧跡もあり北上川に育まれた農村地域である	- 多様な産業がある - 地域が広い	地域によって生活環境に差がある 人口減少が進んでいる
2	主な施設	- 上沼ふれあいセンター - 登米市役所中田総合支所 - 中田生涯学習センター - 中田図書室 - Satoru Sato Art Museum - 中田保育所 - 上沼小学校 - 登米総合産業高等学校 - 上沼郵便局 - 上沼診療所 - 上沼児童活動センター - 登米市けやき教室(さくらの木) - 登米市児童発達支援センターこじか園	生活に必要な資本が整備されている	金融機関等の移転が多く、高齢者に対する負担が大きくなっている
3	地域内の自治施設	- 行政区集会所 - 行政区倉庫	各行政区に集会施設が整備されている	維持管理の長期計画が必要
4	コミュニティ	- 行政区ごとのコミュニティ - 上沼コミュニティ運営協議会 - 上沼ふれあいセンター	コミュニティ内の交流が盛ん	常に時代のニーズを把握し、改善対応の仕組みが必要 女性が地域参加しやすい周辺環境づくりが必要
5	こども	- 中田保育所 - 上沼小学校 - 中田中学校 - 登米総合産業高等学校 - 中田図書室 - 上沼児童活動センター - 登米市けやき教室(さくらの木) - 登米市児童発達支援センターこじか園 - 上沼鳥舞太鼓	学習施設が整っている	子育てしやすい環境づくり、家庭と地域をつなぐきっかけづくりが必要 地域力を活かした学習活動や子育て

6	後継者	・世代交代が難しい ・少子高齢化	・果樹・畜産の担い手は比較的確保されている	結婚対策（婚活）
7	高齢者	・行政区単位の長生クラブ（老人会）の減少 ・行政区ミニディサービス	・活力のある人が多い	高齢者世帯への対応
8	地域環境	・ほとんどのインフラは整備されている ・空き家の増加	・三陸道に通じる幹線道路がある	道路・側溝の整備 空き家のメンテナンス・利用
9	自然環境	・中田の広大な田園 ・起伏は少なく自然が豊か ・北上川の恩恵を授かる	・山も川も沼もあり、多様な生物が生息している	豊かな自然環境を活かしたイベントや保護の検討
10	産業・農業 商業・工業	・米、果樹、野菜等 多様な作物 ・地元商店は減少 ・地域資源を活用した製造業	・多様な産業が存在する	交流人口の導入
11	スポーツ・レクリエーション・娯楽施設	・上沼ふれあいセンター ・登米市中田生涯学習センター ・サイクリングロード ・パークゴルフ場 ・大手口つり公園 ・グリーンキャンプなかだ	・一部施設では利用者がメンテナンスを行っており、利用者数が増加している	パークゴルフ場やサイクリングロード等、野外施設の維持管理
12	神社・仏閣等	・長徳山 弥勒寺 ・大白山 長承寺 ・隆池山 大龍寺 ・永壽山 保昌寺 ・上沼八幡神社 ・桜場八幡神社 ・愛宕神社 ・飯綱神社 ※ P.16「上沼たずね歩き MAP」に掲載	・神社・仏閣が多くあり、文化財や遺跡に触れることができる ・わかりやすいよう説明看板を設置している	祭事を担う住民不足、後継者不足 等

③ 基礎資料

上沼小学校 安心・安全マップ

● 主に交通事故に気をつけるところ (は、特に危険なところ)

- 1 道路が狭い、飛び出し注意。
- 2 T字路、見通し悪い。(整備済)
- 3 歩道、横断歩道のない国道が長い距離続く。
大型トラック等交通量が多く危険。
- 4 四叉交差点、一時停止標識なし、交通量多い。
- 5 カーフ交差点、見通し悪く、事故多い、横断歩道なし。
- 6 道幅が狭い、飛び出し注意。
- 7 大型車が通行する、横断注意。
- 8 交差点で交通量が多い、横断注意。
- 9 見通し悪く危険。
- 10 三叉交差点、一時停止なく危険。
- 11 カーフ、見通しが悪く、向こう側が見えない。
- 12 T字路、見通し悪い。
- 13 歩道が中断している、横断時注意。
- 14 信号機がないため、事故が多い。
- 15 T字路、交通量が多い。
- 16 道路が狭くて危険。
- 17 北区集会所前十字路、横断歩道がない、
見通しが悪い。
- 18 車スピード出しすぎ。
- 19 校門前の国道、通学路で道路が狭い。
大型車もよく通るため、大変危険。
崖が車道に迫っており、崩落や倒木のおそれあり。
- 20 T字路、見通しが悪くて危険、3箇所。
- 21 22 Y字路、飛び出し注意、ガードレール有り。
- 23 Y字路、見通しが悪くて危険。
- 24 道路が狭くて見通しが悪い。
- 25 交通量が多く、大変危険。
- 26 通学路、朝交通量多い、車スピードの出しすぎ。
- 27 陥穽あり、倒壊注意。
- 28 見通しが悪い、一時停止を守らない車等あり。
- 29 交差点、事故が多い。
- 30 横断歩道がない、交通量が多く、車スピード出しすぎ。
- 31 バス乗車のため横断する、横断歩道がない。
- 32 道幅が狭い、歩道がない。
- 33 34 道路が狭くて危険。
- 35 交通量が多い、車スピードの出しすぎ。
- 36 車スピードの出しすぎ。
- 37 交通量が多く、車スピード出しすぎ。
- 38 車スピードの出しすぎ、事故多い。
- 39 車スピードの出しすぎ。
- 40 車スピードの出しすぎ。

▲ 子ども110番の家

- 1 佐々木酒店
- 2 千葉商店
- 3 宮城石炭工業(株)
- 4 小野寺商店
- 5 イナギ交易上沼給油所
- 6 JA中田上沼支所
- 7 上沼郵便局
- 8 熊谷フロン店
- 9 ほううち商店

● 水の事故に気をつけるところ

- 1 ため池、フェンスなく危険。
- 2 揚水気場用水取入口、フェンス低い。
- 3 北上川船着場、フェンスない。
- 4 沼、フェンスなく大変危険。
- 5 機間場、危険。
- 6 用水路、フェンスが低い。
- 7 大手口釣公園、フェンスなし。
- 8 地蔵沼。
- 9 ため池、人目に付きにくく危険。
- 10 小塚沼、危険。
- 11 小塚沼付近の堀、排水路深く危険。
- 12 冠木沼、深い。
- 13~15 用水路、危険。
- 16 用水路と排水路、危険。
- 17 小さなため池あり。
- 18 用水路、フェンスがあるが注意が必要。
- 19 沼、フェンスがなく危険。
- 20 学校周辺の用水路4本、危険。
- 21 沼、危険。
- 22 用水路、排水路。
- 23 24 用水路、農業用水使用時水かさ増える。
- 25 用水路、水量が多いときは流れが急、横がない。
- 26 27 用水路、水量が多いときは流れが急。
- 28 29 用水路、フェンスがない。
- 30 用水路、危険。
- 31 用水路、危険。
- 32 用水路、危険。

令和5年度 PTA 環境部

資料提供：上沼小学校

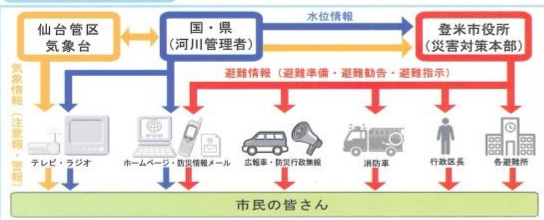
上沼洪水ハザードマップ

(河川氾濫による洪水ハザードマップ)

平成二十七年三月

洪水情報等、情報の伝達方法

情報の伝達系統



避難情報の種類

避難準備情報	高潮等避難行動に時間がかかる方は、早めに避難場所への避難を始めてください。一般の方は、家財との連絡、非常時持出品の準備、避難行動の準備を始め、テレビやラジオなどの気象情報に十分注意しましょう。
避難勧告	川の水量が増え、災害が起こる可能性が高まっているので、一般の方も早めに避難場所への避難を始めてください。
避難指示	川の水量が増え、堤防が壊れるような洪水災害の危険が迫っているため、必ずすぐに避難場所へ避難しましょう。

情報の入手先

- ラジオ
 - FM放送
 - H@FM: 76.7MHz
 - Date FM: 77.1MHz
 - NHK-FM: 82.5MHz
 - AM放送
 - NHK第1: 891KHz
 - NHK第2: 1089KHz
 - TBC東北放送: 1260KHz
- 災害用伝言ダイヤル「171」(災害時のみ稼働)
 - ※災害時に家族等の避難状況等を録音、再生することができます。
 - ①受話器を取り、「171」に電話します。
 - ②次にアナウンスが聞こえます。
 - 「こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する録音は3、暗証番号を利用する再生は4を、ダイヤルしてください。」
 - ③これで、それぞれの状況に応じて、アナウンスされる手順にそって、録音または再生を行ってください。
 - ※詳しくは、局番なしの「116」か <http://www.ttc-east.co.jp/sangai/voice/171/index.html> で確認してください。

凡例

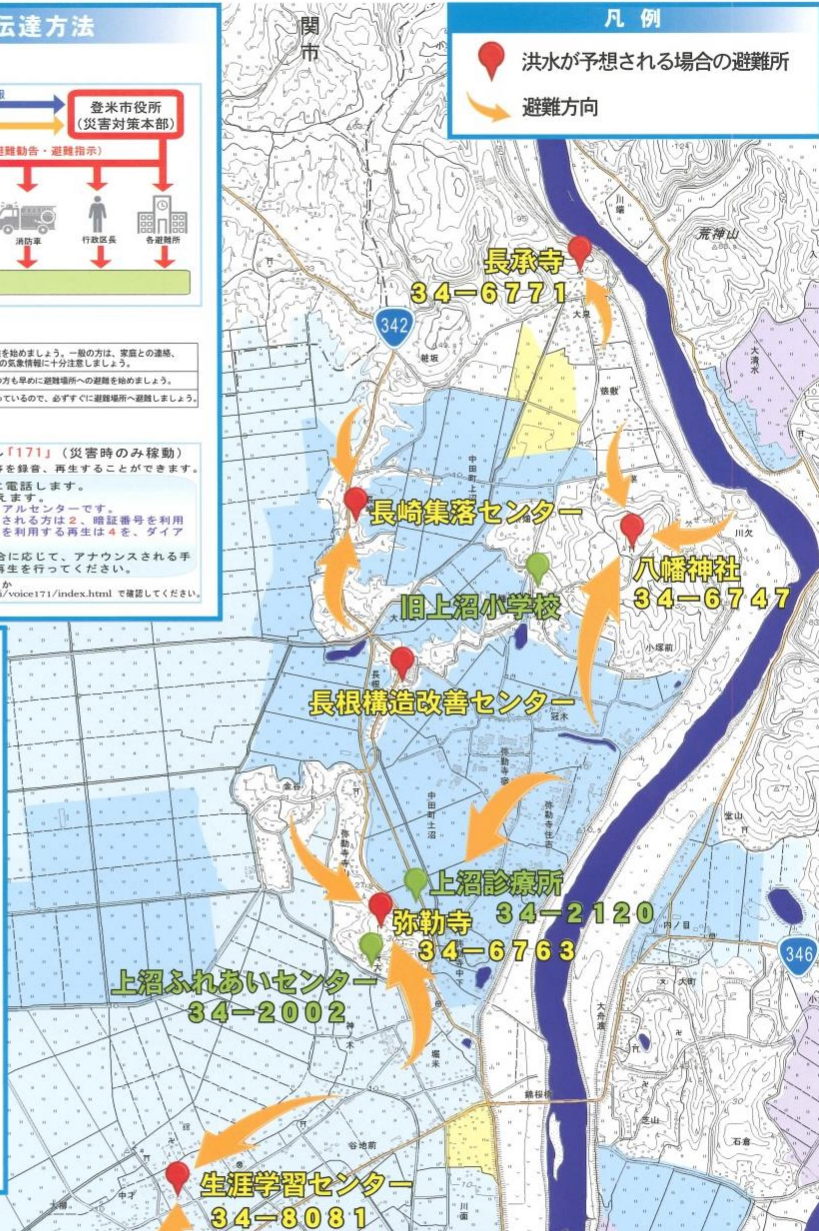
- 洪水が予想される場合の避難所
- 避難方向

- 避難のために普段から心がけよう！
 - ①各家庭で非常時持出品を準備しておきましょう
 - ・非常時持出品は普段から準備して、置き場所を家族で確認しておきましょう。
 - ②各家庭で避難所・避難ルートを確認しておきましょう
 - ・地域の避難所を確認しておきましょう。
 - ・避難先は事前に家族と確認しておきましょう。
 - ・避難所への具体的な避難順路を事前に確認しておきましょう。
- 気象情報から大雨や洪水に備えよう

注意報・警報が発表されたら注意しよう！

テレビ・ラジオ・新聞等で発表される気象情報には、「注意報」や「警報」があります。実際の雨の降り方とどのように関係するのか確認しておきましょう。

また、注意報・警報が発表されたときは、内水による浸水にも十分注意しましょう。
- 避難の仕方について
 - ①早めの避難を心がけ、浸水想定区域外へ避難しましょう！
 - ・広範囲にわたる浸水が想定されます。浸水の恐れが少ない指定避難所をマップで確認して、避難しましょう。
 - ②浸水想定区域外へ避難できない場合は…
 - ・周りの浸水が始まってしまったときは、近くの高所へ徒歩で避難しましょう。
 - ・水深が腰まであるときは、無理せず近くの高所へ避難し救援を待ちましょう。



浸水ランクの目安

浸水ランク	浸水深度	被害想定
5.0m以上の区域	5.0m	2階の軒下まで浸水する程度
2.0~5.0m未満の区域	2.0m	1階の軒下まで浸水する程度
1.0~2.0m未満の区域	1.0m	大人の腰までつかる程度
0.5~1.0m未満の区域	0.5m	大人の膝までつかる程度
0.5m未満の区域		大人の膝までつかる程度

作成 上沼コミュニティ運営協議会

「この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を使用した。(承認番号 平 26 情使、第 935 号)」

上沼たずね歩きMAP（表） [平成29年2月作成 令和3年2月改訂]



上沼たずね歩きMAP (裏)

1 上沼中央尋常小学校跡 (昭和33年)
上沼中央尋常小学校跡。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

2 奥の細道 (芭蕉の道)
芭蕉が奥の細道を歩いたと伝わる。芭蕉は、上沼中央尋常小学校跡(上沼中央尋常小学校)の敷地内に、芭蕉の墓がある。芭蕉の墓は、芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。

芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。

3 上沼神社
上沼神社は、上沼中央尋常小学校跡(上沼中央尋常小学校)の敷地内に、芭蕉の墓がある。芭蕉の墓は、芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。

芭蕉の奥の細道の道標として建てられた。

4 上沼小学校跡「金屋敷」
上沼小学校跡。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

5 鹿池山 大龍寺
鹿池山 大龍寺。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

6 上沼 八幡神社
上沼 八幡神社。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

7 姥神神社
姥神神社。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

8 本宮神社
本宮神社。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

9 大石山 長壽寺
大石山 長壽寺。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

10 姥板の磐石
姥板の磐石。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

11 朝日神社
朝日神社。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

12 愛宕神社
愛宕神社。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

13 長徳山 弥勒寺
長徳山 弥勒寺。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

14 南殿の桜 (聖徳神社)
南殿の桜 (聖徳神社)。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

15 大日神社と正二年の碑
大日神社と正二年の碑。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

16 坂場高石
坂場高石。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

17 御室の藤
御室の藤。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

18 奥州坂場神社 (奥州山 保壽寺)
奥州坂場神社 (奥州山 保壽寺)。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

19 姥馬・姥山沖之右衛門 (姥馬 八幡神社)
姥馬・姥山沖之右衛門 (姥馬 八幡神社)。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

20 聖徳所石川先生誕生之地
聖徳所石川先生誕生之地。昭和33年(1958)に上沼中央尋常小学校として改称された。跡地に上沼小学校が建てられた。昭和33年(1958)から2015年(平成27年)までの26年間、上沼中央尋常小学校の子供たちの育ちの場であった。

昭和33年(1958) 上沼中央尋常小学校跡

これまでの活動の様子



委員名簿

	役職・行政区名	氏 名
1	弥勒寺南区長	佐藤 健美
2	弥勒寺北区長	千葉 貞夫
3	金谷区長	千葉 和典
4	寺山区長	千葉 博直
5	長根区長	小野寺和彦
6	長崎区長	千葉 哲郎
7	冠木区長	小野寺 浩
8	八幡山区長	阿部 清喜
9	本宮区長	本宮 秀年
10	大泉区長	渡辺 亨
11	神ノ木区長	小野寺 博
12	要害区長	佐藤 信男
13	大柳区長	堀内 利巳
14	新田区長	畠山 俊之
15	籠壇区長	佐藤 邦恵
16	文化部長	早坂 峰夫
17	環境部長	千葉 久義
18	女性部長	及川 真希
19	体育部長	菅原喜久治
20	上沼地区 社会体育振興員会長	熊谷 康弘

	役職・行政区名	氏 名
21	登米市消防団 上沼地区団代表	石川 保則
22	佐沼地区交通安全協会 上沼支部長	小野寺篤朗
23	上沼小学校区 子供育成会長	佐藤 正宏
24	上沼小学校教頭	加藤 浩二
25	上沼小学校教務主任	高橋 宏典
26	上沼小学校ＰＴＡ会長	熊谷 和久
27	中田中学校ＰＴＡ代表 (コミュニティ担当)	八乙女百合
28	弥勒寺南	熊谷たかよ
29	弥勒寺南	千葉 信子
30	弥勒寺北	及川さよ子
31	弥勒寺北	熊谷 卓郎
32	八幡山	千葉 博幸
33	神ノ木	三浦 勝則
34	籠壇	粕谷 義昭
事務局	センター長	及川 伸哉
	事務員	小野寺博子
	事務員	畠山 千春
	集落支援員	千葉さおり
支援	まちづくり推進部市民協働課	



うわぬま 元気プロジェクト！

上沼地区まちづくり事業 実施計画書

令和6年3月

発行：上沼コミュニティ運営協議会

作成：うわぬま元気プロジェクト委員会

事業支援：登米市まちづくり推進部市民協働課



Facebook



登米市
教育情報サイト